

国立大学改革プランの位置付け

国立大学法人スタート

【国立大学法人化の意義】

- ・自律的・自主的な環境の下での国立大学活性化
- ・優れた教育や特色ある研究に向けてより積極的な取組を推進
- ・より個性豊かな魅力ある国立大学を実現

※大学共同利用機関法人も同時にスタート

第3期 中期目標期間

(平成28年度～)

持続的な“競争力”を
持ち、高い付加価値を
生み出す国立大学へ

第2期中期目標期間

(平成22～27年度)

法人化の長所を生かした改革を本格化

今後の国立大学の機能強化に向けての
考え方 (平成25年6月)

改革加速期間

グローバル化
イノベーション機能強化
人事・給与システムの弾力化

国立大学を取り巻く環境
の変化

- ・グローバル化
- ・少子高齢化の進展
- ・新興国の台頭などによる競争激化など

ミッションの再定義

国立大学改革プラン

自主的・自律的な改善・発展を促す
仕組みの構築

第1期 中期目標期間

(平成16～21年度)

新たな法人制度 の「始動期」

平成16年度
(2004年4月)

平成22年度
(2010年4月)

平成25年度
(2013年4月)

平成28年度
(2016年4月)